



有



ARITA



有田町
観光ガイドブック

四〇〇年の時を経て輝く
新しい有田の魅力発見。

佐賀県 有田町
Hyperlink Guidebook



CONTENTS

下記項目タップ：該当ページスキップ
右側▲前頁▼次頁INDEX本頁スキップ
その他①★：ハイパーリンク

有田の魅力を語る女子会
特別対談：地元の人に聞け

有田焼とは
有田焼の歴史

美術館

有田の名物グルメ

有田の手みやげ

見る・知る・あそぶ

歴史をめぐるたび

お気に入りの器を探しに
自然散策をたのしむ

有田を感じたいなら
体験施設リスト
宿泊施設リスト

散策の目安

有田町での移動手段のご案内
有田町年間イベント



広告スペース

INDEX



★読書用タップ

有田町観光協会ありたさんぽ 見る・観光スポット

日本磁器発祥の地・有田を
深く楽しく旅したい方にオススメ!!

有田観光 まちなかガイド

有田観光協会が作成したガイドブック「有田観光まちなかガイド」を公開！
観光スタッフならではの情報、観光、うらちなど、たくさんのお楽しみ情報を掲載してお楽しみいただけます。
日本磁器発祥の地・有田を、深く楽しく旅したい方にオススメです。
お一人様から団体様まで、お気軽にお申し込みください。



1870



●焼物
(有田町歴史博物館蔵)



●結露
多付青磁文皿
(有田町歴史博物館蔵)

17世紀後半～



●初期伊万里
白付山吹文皿
(有田町歴史博物館蔵)

1610年代～

有田焼の歴史

有田焼とは

有田焼ありたさんぽとは、位置員有田町とその周辺地域で製造される磁器を指します。
17世紀初頭、朝鮮人陶工・初代金ヶ江三兵衛(通称・李参平)らによって有田の泉山で陶石が発見されたことにより、有田で産業としての磁器の製造が始まりました。当時、伊万里港から積み出されていたため「伊万里焼(いまりやき)」とも呼ばれました。日本でも初めて磁器が焼かれた産地として、400年間、食器や美術工芸品を中心としたものづくりを続けています。

有田で造られている「土器作り」が始まったのは1640年代、初代金井田梅右衛門が成功したとされています。陶磁器用の粘土を釉薬の上に彩色を施す技法で、それまでの染付けのみの世界から、多色色となりました。
1650年代からは、有田焼をオランダの東印度会社(通称V.O.C)により東南アジアやヨーロッパの国々に輸出され始めました。ヨーロッパの王侯貴族の間では、磁器を持つことはステータスシンボルとなりました。
1670年代から1690年代にかけて「梅右衛門様式」が主流となり、2色流行しました。手漉しにシロと呼ばれる乳白色の釉薬に、余白を残した絵柄の陶器で、色絵を施すのが特徴です。梅右衛門様式はヨーロッパに多く輸出され、宮廷を飾るだけでなく、ドイツの「マイセン」などと競合されました。

17世紀の後半、それまで有田にあった焼物産地が伊万里市の大川内山に移ります。ここでは「焼物」という、献上品が産地の経済を管理のしに焼かれていました。焼物産地は、規則正しい形状と意匠の色彩、透け、青磁などで、気品あふれる作風が特徴です。
「金井様式(さんざんやうしき)」は、江戸時代の元禄期(1688年~1704年)に「金井」が、透けに赤や金の絵の具を青磁に使用して、花文様などを器面に描き込んだのが始まりです。透けの絵柄は、透けの絵柄を器面に描き込んだのが始まりです。透けの絵柄は、透けの絵柄を器面に描き込んだのが始まりです。

幕末の有田焼

江戸末期の有田は経済的な不況が続いていました。1858年(安政11年)には、大正時代には、工業用製品や磁器の需要が増大し、この分野の生産が伸びます。また、1896(明治29)年を境として、有田焼品評会の設立が行われ、1916(大正5)年に正式に始まった「陶器市場」は、有田陶器市として発展し、現在に至っています。

明治時代の有田焼

明治時代には、工業用製品や磁器の需要が増大し、この分野の生産が伸びます。また、1896(明治29)年を境として、有田焼品評会の設立が行われ、1916(大正5)年に正式に始まった「陶器市場」は、有田陶器市として発展し、現在に至っています。

大正時代以降の有田焼

大正時代には、工業用製品や磁器の需要が増大し、この分野の生産が伸びます。また、1896(明治29)年を境として、有田焼品評会の設立が行われ、1916(大正5)年に正式に始まった「陶器市場」は、有田陶器市として発展し、現在に至っています。

1900



1900年パリ万博金牌受賞作
山吹文皿
(有田町歴史博物館蔵)

17世紀後半～



●金襴子
染織花籠文皿
(有田町歴史博物館蔵)

1670年代～



●梅右衛門
色絵花籠文六文筒
(有田町歴史博物館蔵)



有田焼には、様々な表現方法があります。

●白磁(はくじ)

地肌(のび)を先かき、油濁の釉薬をかけて焼成した白い磁器。写真・白磁花籠文鉢(佐賀県立九州陶器文化館蔵) 白磁花籠文鉢(佐賀県立九州陶器文化館蔵)

●染付け(そめつけ)

呉須(のび)という、焼く前に藍色に染色する釉薬の下に、染付けをしたもの。写真・染付け文鉢(佐賀県立九州陶器文化館蔵)

●色絵(いろえ)

焼き上げた釉薬の上に、赤・黄・緑・紫・青・白の釉薬を塗り、焼成したものを指す。写真・色絵文鉢(佐賀県立九州陶器文化館蔵)

●青磁(あおじ)

鉄分を多く含む釉薬を塗り、焼成したものを指す。写真・青磁文鉢(佐賀県立九州陶器文化館蔵)

●磁器(じき)

透明の釉薬に呉須を塗って焼成したものを指す。写真・磁器文鉢(佐賀県立九州陶器文化館蔵)

●焼物(やきもの)

釉薬を塗らずに焼成したものを指す。写真・焼物文鉢(佐賀県立九州陶器文化館蔵)

美術館 Museum



肥前の陶磁器をはじめ、九州各地の陶磁器や現代陶芸家作品の展示、展示している、やまの里の専門の美術館。江戸時代に海外へ輸出された吉伊万里など100以上の品を集めた「源右衛門コレクション」(有田町所蔵)や、常時約1000点展示する「柴田夫妻コレクション」などの江戸時代の有田焼コレクションは、見どころあり、屋外には、絵巻都市・マイセンで製作されたマイセン磁器の鐘25個が備えられ、毎日正時に奏でられる美しい音色で、訪れる人に癒しのひと時を提供してくれます。そのほか、館内の到る所にやまの里の製品が設置されているのもポイント。



佐賀県立九州陶磁文化館

有田町戸約2.3100-1
☎0955-43-3681 MAP:F-7
☎9:00~17:00
☎入館料:無料(特別企画展開催中は有料の場合有)
☎月曜日(祝祭日除く) 年末(12月29日~31日)
☎あり



有田町歴史民俗資料館東館

有田町京山1-4-1
☎0955-43-2678 MAP:H-5
☎9:00~16:30
☎入館料:大人100円/団体60円(20名様以上)
☎年末年始
☎あり

有田陶磁美術館

有田町大樽1-4-2
☎0955-42-3372 MAP:G-5
☎9:00~16:30
☎入館料:大人100円/団体60円(20名様以上)
☎月曜日・年末年始
☎あり

佐賀県の重要文化財「陶形赤絵の船犬」や染付有田山嵐人形土器「大黒船」をはじめ、有田焼磁器の資料や吉伊万里、柿右衛門、色紙磁器などが鑑賞できる町立美術館。収蔵品は、基本から近代にかけての作品が中心。明治時代のやまの里の倉庫を利用した石蔵づくりの館内で、有田の陶磁器に関する歴史が学べます。



柿右衛門窯・柿右衛門古陶磁参考館

有田町南山丁362
☎0955-43-2267 MAP:E-6
☎9:00~17:00
☎入館料:無料
☎年末年始
☎あり



深川製磁 チャイナ・オン・ザ・パーク

有田町唐崎2-111
☎0955-46-3900 MAP:C-6
☎10:00~17:00
☎入館料:無料
☎火曜(祝祭日のみ火曜日も営業)・年末年始
☎あり



アートギャラリー賞美堂

有田町赤坂町2351-169
有田陶磁の里プラザ内
☎0955-42-2261 MAP:E-5
☎10:00~17:00
☎入館料:無料
☎1月1日
☎あり



源右衛門窯 古伊万里資料館

有田町大樽西2726
☎0955-42-4164 MAP:E-5
☎8:00~17:00
☎入館料:無料
☎年末年始
☎あり

「十五代源右衛門の室元」併設された美術館。380年に渡って継がれてきた柿右衛門窯の歴史と、世界中を魅了した柿右衛門式といわれる「ももの文化」を知る事ができます。柿右衛門様式の茶や花紙などをはじめ、近代の代表作も展示しています。

皇室・宮室に御用を納めた有田製磁が一堂に集まる「陶磁のアーカイブ」1980年パリ万国博覧会賞の大火花を飾り、創業地深川先次郎のコレクションを展示した、忠実に再現した「先次郎の窯」が併設され、やまの里の魅力を堪能できます。

江戸中期 欧州で主役賞賛の寵愛と、身に受けたとされる「吉伊万里」そんな吉伊万里を主として海外に渡った路品をこの地で「里帰り」させて、一展に展示しています。新しい時代へ向けた「本物の良さ」を体感できます。

2500余年の歴史と誇る源右衛門窯が、昭和40年代から参事長として取組した輸出古伊万里を中心に展示。館内には、17世紀初頭から有田の歴史を語る吉伊万里の敷が、ギンペリと納められています。日本各地や東南アジア、ヨーロッパと、世界各地から訪れた作品の魅力を伝える事ができます。



今右衛門窯・今右衛門古陶磁美術館

有田町赤坂町2-111
☎0955-42-5650 MAP:G-6
☎9:30~16:30
☎入館料:大人300円/団体200円(15名様以上)
☎企画展は別料金
☎月曜(休日の場合は、その翌日)・年末年始
☎あり



香蘭社古陶磁陳列館

有田町赤坂1-3-8
☎0955-43-2132 MAP:G-6
☎平日/8:00~17:25
☎10~3月の土・日・祝/9:30~17:00
☎4~9月の土・日・祝/9:30~17:30
☎入館料:無料
☎年末年始
☎あり



有田ボーセリンパーク ツヴィンガー宮殿

有田町赤坂2-340-28
☎0955-41-0030 MAP:G-7
☎平日/10:00~16:00
☎土・日・祝/10:00~17:00
☎入館料:大人500円、中高生300円、小学生無料
☎不定休
☎あり



梶謙製磁型 美術館

有田町東田町2662
☎0955-42-3177 MAP:E-5
☎9:00~17:00(有田陶磁器期間および予約時のみ開催)
☎入館料:無料
☎要予約
☎あり

十一代から十四代までの今右衛門によって蒐集された陶磁。古伊万里の優品及び十代以降の現代今右衛門の作品を展示しています。また、代々今右衛門窯に伝わるさまざまな制作道具や古窯跡の陶片なども展示。年により、毎回テーマを変えて企画展を開催しています。

明治時代に建てられた本邸。階の特別展示は、宮内庁御用窯をはじめとする古陶磁や美品を並べ、めんとをマナリ。万国博覧会をはじめ、世界各地で数多くの賞賛と名譽を獲得してきた、名譽「香蘭社」など、今なわわワーレドワードで魅了し続ける歴史的な美品を鑑賞ください。

ドイツ・ドレスデンのツヴィンガー宮殿を再現した、有田焼のギンペリ。館内には、基本から明治期にかけての輸出品が展示され、400年に渡りつづがれてきた有田焼の歴史を体感できます。1820年代に開催されたツヴィンガー博覧会に出品された、1820年代の大火花は必見です。

江戸時代から続く老舗製磁で、古くから使われてきたという型を展示。これは、石膏や陶板がなかった時代に、様々な形状を作るために考案されたものです。三ツノ型と三ツノの複製から四尺丁、100021センチを越える大皿の型まで、数千年にわたる型から、型を展示紹介しています。



深川製磁 チャイナ・オン・ザ・パーク



有田歴史民族資料館



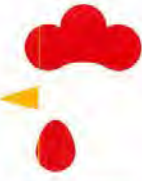
有田歴史民族資料館

FUKAWASEJI
深川製磁オンラインショップ
ARTE-WAN

INDEX

佐賀県

INDEX



有田焼五膳

「有田焼五膳」とは町内の4店舗でお出しする新ご当地グルメ。有田産の食材と有田焼の器の両方が楽しめるプレミアムなランチメニューです。有田の歴史こだわりのオリジナル器は、玉手箱や宝石箱がイメージされて作られており、運付きで献上が結ばれて、いすずを開けると、中には調理された鶏肉料理が並びます。お料理はもちろん、器を盛りつける器にもあつと魅了されることでしょう。



①亀井館

旬の海の幸でつくりきり寿司をはじめ、自家製そばやちらし寿司など、職人歴45年の技と粋を感じる料理を揃えた寿司料理店。「有田焼五膳」は、大将のこだわりを効かせた5種の鶏肉料理と華やかなちらし寿司をお楽しみください。

有田町岩谷川内2-10-12
☎0955-43-2951
□11:30～14:30 / 17:00～22:00
五膳提供:夜は予約のみ
☐不定休
☒18台

②レストランまるいし

年代問わず楽しめるメニューの豊富さで人気のレストラン。有田郷土の味はもちろん、自家製の生ハムやペペコンを使ったピザなど、その幅広さと美味しさは折り紙つきです。五膳もまた、5種それぞれに特長のある料理で楽しませてくれます。

有田町戸内西731-1
☎0955-42-4800
□11:30～14:30 / 17:00～02:30
☐不定休
☒18台



有田の名物グルメ



③お食事処 本陣

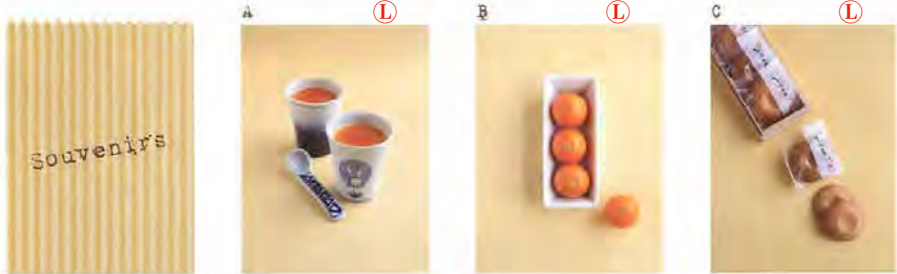
180年前の「本陣」跡の建物で営む日本料理店。有田名物「ごどうふ」をはじめ、彩りも豊かな和の味覚でもてなしてくれます。「有田焼五膳」は、季節感を醸し出した美しさと味わい深さが特徴。もちろん「ごどうふ」付き!

有田町中野1-1-12
☎0955-42-6433
□11:30～15:30 / 17:00～09:19:30
五膳提供:夜は予約のみ
☐水曜日
☒15台

④ギャラリー有田

2,000客ものコーヒークップに囲まれた「有田」を感じる空間。店内のカップからお気に入りを選択して、ドリンクが楽しめるのもポイント。「有田焼五膳」は、女性に嬉しいヘルシー感たっぷり仕立て上げられています。

有田町本町2-3057
☎0955-42-2952
☐9:00～19:00
五膳提供時間:11:30～14:00
☐無休
☒25台



A 杏荔枝の有田焼プリン

なめらか濃厚味のプリンが、有田焼に入った賢いな逸品。カラメルソースをかけてどうぞ。それぞれ柄の異なる容器は、食べた後に器としても楽しめます。

有田町丸尾西1933-1
☎0955-41-1122
10:00～20:00 水曜日 3席 P6台

B きんかん

まるまると粒が大きく、生のままで甘くておいしい有田産の完熟きんかん。カラダも喜ぶ口福(ごうふく)の一般。(収穫時期:11～3月)

有田町牧場農林課
有田町立部乙2202
☎0955-46-5616

C 吉永菓舗の羽間右衛門クッキー

磁器を焼く時に欠かさない「ハマ」と呼ばれる丸い動物の形に型取られたクッキー。やきもの町ならではの発想と愛らしい形が特長です。

有田町南原甲92-7
☎0955-42-3521
9:00～19:00 火曜日 Pあり

D 前田陶助堂の陶助おこし

サクサク、フワとした食感と生薬の風味が口の中で広がる、新感覚のおこし。やわらかくほどゆく口あたりは、一度食べたら忘れられません。

有田町泉山1-16-12
☎0955-42-4411
平日 / 8:00～11:00 / 14:00～16:00
土・日・祝 / 8:00～18:00 不定休 Pなし

E ごどうふ

弾力のあるもちもちプルプルの食感が癖になる、昔ながらの製法を守ったごどうふ。定番のゴマダレはもちろん、黒蜜ときなこをかけるのもおすすめです。

高島豆腐店
有田町岩谷川内2-9-7
☎0955-43-2463
7:00～17:00 無休 Pあり

F マツコシヨウゴウチ 松尾酒造場の純米吟醸酒 宮の松

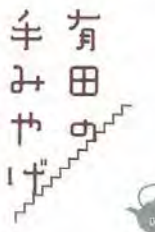
華やかな香りと、まろやかでかつキレの良い味わいが特徴。フレッシュなフルーティなおいしさが魅力の日本酒。

有田町大木町E 617
☎0955-46-2411

G 宗政酒造の純米吟醸酒 宗政

果実のような爽やかな香りと、やさしい甘味の中に爽やかな酸味と旨みがバランスよく広がります。ワイングラスで飲むのもおすすめです。

有田町戸矢乙340-28
☎0955-41-0020



TOP

柳田米

有田産の柳田米は、生活排水が溜まっていない国見山系の水を使って栽培しています。独特の地形のために機械が入りにくく、手作業で丁寧に育てている場所もあります。自分の田んぼが育てる柳田オーナー制度もおすすめです(柳田米は「ファームステーション四季ありた」にて販売しています)

鯉料理

全国の名水百選に選ばれるほどの名水。「竜門の清水」に洗われた鯉は、身が引き締まっていて、コリコリとした食感です。川魚特有の臭みは全くありません。上品な味と、有田焼の器との共演を、お楽しみください。

・食べられるお店: No.51 龍水亭, No.52 龍泉荘

まだまだあるよ! 有田の味どころリスト

■東地区				■西地区					
No.	店名	種類	電話番号	MAP	No.	店名	種類	電話番号	MAP
42	和食処 赤松	和食	☎0955-42-5437	E-5	41	レストラン 雲林楼	和食	☎0955-46-5000	C-6
7	手づくりはん 緑香	和食	☎0955-42-2039	G-5	43	チヤイ・オンザ・パーク 龍泉荘/レストラン	和食	☎0955-46-3900	C-6
8	明治屋 (土井屋)	和食	☎0955-41-1505	G-5	46	そば 義吉	和食	☎0955-46-2352	C-6
9	月桃庵 ざれど	和食	☎0955-43-3760	G-6	47	大和一心庵 雪月花	和食	☎0955-46-3170	B-5
10	香露庵 赤松町店	和食	☎080-8394-9787	G-6	49	から揚げドンドン	和食	☎0955-46-4660	C-3
11	うなぎ専門店 妹	和食	☎0955-42-4010	F-6	50	鯛魚巻 やました	和食	☎0955-46-3923	C-6
12	カフェテラス彩 AYA	喫茶	☎0955-43-3681	F-7	51	有田一膳館	和食	☎0955-43-2008	F-6
13	こばん	和食	☎0955-43-2880	F-7	52	Café da ILHA	喫茶	☎0955-42-2575	F-6
14	ラーメン太郎	和食	☎0955-42-4311	F-7	53	そば処のりとう (金・土・日営業)	和食	☎0955-43-2890	E-7
15	有田ボーゼンパーク	和食	☎0955-41-0030	G-7	54	筑屋橋	和食	☎0955-42-2934	C-6
16	宮料理 八田和	和食	☎0955-42-2292	F-7	55	うどん・そば 大ちん	和食	☎0955-42-3969	E-6
17	日本料理 保名	和食	☎0955-42-2733	E-6	56	有田温泉 お食事処 ハナちゃん	和食	☎0955-42-6989	D-5
18	ハブ&レストラン 瑞興 有田駅前ビル	和食	☎0955-43-5087	G-7	58	Café hestia	喫茶	☎0955-25-9389	F-6
19	エトワール/ホリエ有田店	和食	☎0955-43-2203	F-6	59	ギャラリーベクイン Cafe 100bar	喫茶	☎0955-25-9683	F-6





今右衛門古陶磁美術館



吉野ヶ里歴史公園(神崎市・吉野ヶ里町)



肥前びーどろ(佐賀市)



源右衛門古伊万里資料館 井上萬二窯 柿右衛門古陶磁参考館 青木龍山・清高工房 今右衛門古陶磁美術館 佐賀県立九州陶磁文化館

イマエモンガマ・イマエモンコウジビジツツカン
今右衛門窯
今右衛門窯古陶磁美術館

MAP:G-6 ★

色鍋島の歴史、伝統を今に受け継ぐ今右衛門窯と、併設された美術館。
(詳しくは6ページへ)



サガケンリツキョウシユウツウツパンカン
佐賀県立九州陶磁文化館

MAP:F-7 ★

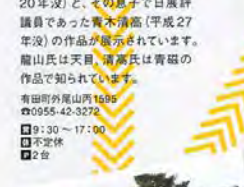
有田の歴史を知るには、まずはここへ。やきもののことを詳しく学びます。
(詳しくは5ページへ)



アホケルユゼン・アホケルユボウ
青木龍山・清高工房

MAP:E-6 ★

大正時代初期に、貿易商の青木基一郎によって建てられた陳列館に、文化勲章受章者で日本藝術院会員だった青木龍山(平成20年没)と、その息子が日展評議員であった青木清高(平成27年没)の作品が展示されています。龍山氏は天目、清高氏は青磁の作品で知られています。



アホケルユゼン・アホケルユボウ
柿右衛門窯
柿右衛門古陶磁参考館

MAP:E-6 ★

380年の歴史がある柿右衛門窯と、併設された美術館。
(詳しくは6ページへ)



有田観光ガイド ★

有田初心者におススメ! 有田を知り尽くしたガイドがオススメの観光スポットをご案内するサービスです。定番を押さえた「モデルコース」もありますが、「銀き物を作っている所を見たい」「作品をたくさん見たい」といったご要望に合わせてコースを設定することもできます。有田の歴史、内山地区、有田の町並み、西有田地区など、有田の魅力や存分にお伝えし、お客様が楽しい旅の思い出づくりをお手伝いします。

お問い合わせ先 有田観光協会
TEL.0955-43-2121 FAX.0955-43-2100 URL http://www.arita.jp mail kanko@arita.jp

歴史をめぐるたび

有田焼400年の歴史と伝統を今に伝える美術館・資料館で名品を間近で見学しましょう。

世界有数のコレクションは必見!

美しい器たちはまさにアート

イノウエマシジロガマ
井上萬二窯

MAP:E-6 ★

静かな住宅街にある人間国宝・井上萬二の工房、ギャラリー。井上氏は、重要無形文化財「白磁」保持者(いわゆる人間国宝)で、伝統的な白磁制作技法を極め、後進の指導にも力を注いでいます。

有田町南山1-207
☎0955-42-4438
8:30～17:30
☎年末年始・7月、8月お盆休館



アホケルユゼン・アホケルユボウ
源右衛門窯
源右衛門古伊万里資料館

MAP:E-5 ★

源右衛門窯に併設された源右衛門古伊万里資料館です。
(詳しくは6ページへ)



料金表	5名様まで	1,500円	ガイド1名
1時間あたり	6～15名様	3,000円	ガイド1名
	16～30名様	4,500円	ガイド2名
	31～45名様	6,000円	ガイド3名
	46～60名様	7,500円	ガイド4名

※ガイドの人数については、お客様の安全面やガイドの声の届く範囲を考慮して設定しておりますのでご了承ください。
※上記料金にタクシー運賃、施設入館料等は含まれておりません。
※料金は予告なしに改定する場合があります。
※修学旅行のガイドは別途料金を設定しておりますのでお問い合わせください。
※保護者同伴の場合、中学生以下のガイド料は無料となります。

赤絵座 陶山神社 有田異人館 有田館 トンバイ塙 内山地区の町並み(表通り・裏通り) 泉山磁石場

チンクワンシヨウコウリョウツウツパンカン
伝統文化の交流プラザ
有田館

MAP:G-5 ★

世界で唯一の磁器製のカラクリ人形劇の上演をはじめ、有田徳の販売、季節に応じた企画展、観光案内などを行っています。2階の喫茶コーナーでは、お好きなカップでコーヒーを飲むことができます。(時期によっては対応していない場合があります)

有田町幸平1-14
☎0955-41-1300
9:30～17:00
☎年末年始
2台



トシノバイ
トンバイ塙

MAP:G-5 ★

内山地区の町並み散策のハイライトであるトンバイ塙。登り窯を築くために用いた耐火レンガ(トンバイ)の腐材や使い捨ての窯道具、陶片を赤土で盛り固めて作った塙です。



トクサツシヨウボウ アカエツ
独立支援工房 赤絵座

MAP:F-6 ★

有田での独立を目指す若手作家のためのインキュベーション工房。若手作家が作陶を行っている工房では、作陶風景を見学だけでなく、独付け体験・ろくろ体験もできます。作家の作品の販売も行っています。

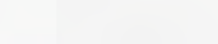
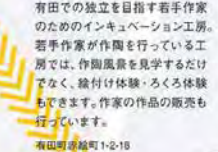
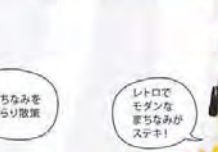
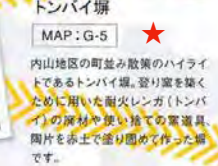
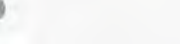
有田町南崎町1-2-18
☎0955-41-1310
9:30～17:00
☎不定休
2台

トクサツシヨウボウ リンカンビロ
陶山神社・李參平の碑

MAP:G-6 ★

応神天皇を主神とし、陶祖・金ヶ江三兵衛(通称:李參平)が祀られている神社で、建立は1658年頃といわれています。境内にある大鳥居や狛犬、大水缸、燗干など、あらゆるものが磁器でできており、やきもの町ならではの神社です。

有田町大橋2-5-1
☎0955-42-3310
2台



みる・知る・あそぶ 内山地区 月文策

「やきものまち」ならではの歴史の面影と空気を感ずる町歩きを楽しんで。

ウチヤマチノマナチニ
内山地区の町並み

MAP:F-6, G-5, G-6 ★

有田焼400年の歴史を育んだ町並みは、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。漆喰塗りの町家や洋館、窯元のショールームなどが立ち並び、バラエティに富んだ町並みです。

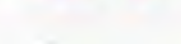
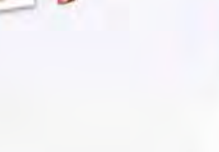


アリタイシヨウカン
有田異人館

MAP:G-5 ★

有田の豪商であった田代助作が、1876年(明治9年)に陶磁器を買い付けに来た外国商人の宿泊・接待施設として建築した和洋折衷の建物です。中にはらせん階段があり、当時としては画期的なデザインでした。佐賀県的重要文化財に指定されています。土・日・祝日は、建物内部の見学ができます。

有田町幸平1-2
☎10:00～16:00
☎平日、年末年始
2台





1TAPSMART 7
ハイブリッド
メディアご案内



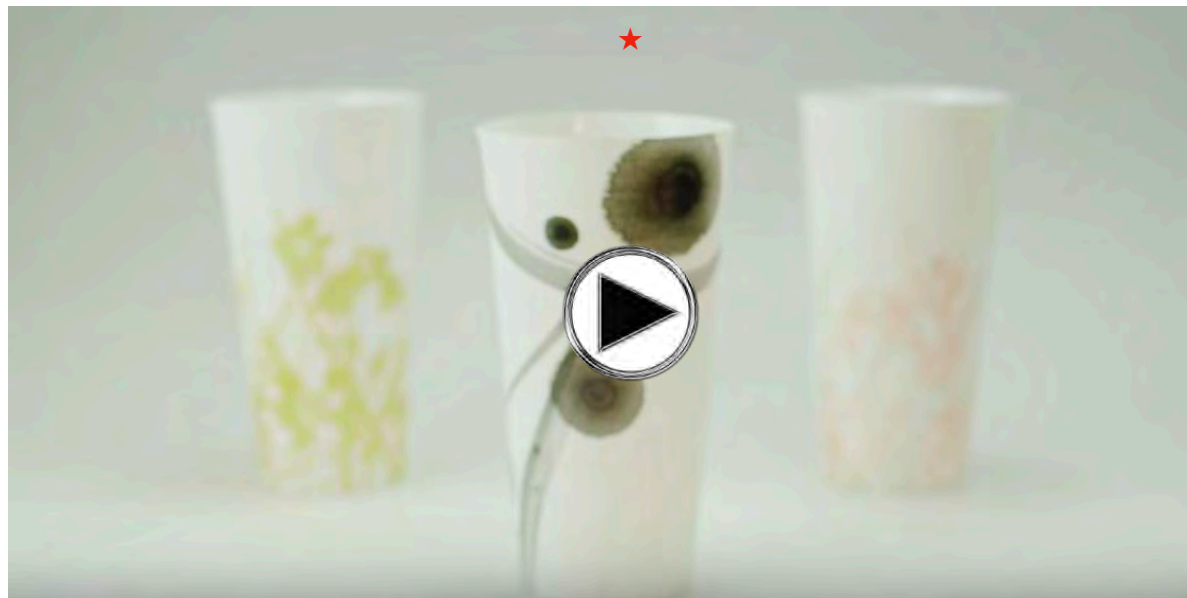
INDEX

時空間超越
7×電子化機能

- 1 見る・見える・伝える
- 2 各種電話通話
- 3 1タップメール送信フォーム
- 4 グーグルマップ
- 5 目次検索
- 6 関連情報リンク
- 7 ビデオリンク



株式会社ジャックインク



手技TEWAZA「伊万里・有田焼」imari-arita porcelain



ARITA EPISODE2 -Professional Use Project vol.1

EVENT
有田町年間イベント

2月上旬・3月下旬
有田焼の歴史をたどる「有田焼の七色祭り」を開催。各窯元が制作された人形ひなりに着ぐるみ衣装を着た人形を、有田焼の歴史をたどる「有田焼の七色祭り」を開催。各窯元が制作された人形を、有田焼の歴史をたどる「有田焼の七色祭り」を開催。

4月第1日曜日
風雲山びらき祭
風雲山の山頂に設置した、有田焼の歴史をたどる「有田焼の七色祭り」を開催。各窯元が制作された人形を、有田焼の歴史をたどる「有田焼の七色祭り」を開催。

4月29日・5月5日
有田焼祭り
約4,000坪の広大な有田焼の歴史をたどる「有田焼の七色祭り」を開催。各窯元が制作された人形を、有田焼の歴史をたどる「有田焼の七色祭り」を開催。

5月4日
開港祭
有田の町を巡る有田焼の歴史をたどる「有田焼の七色祭り」を開催。各窯元が制作された人形を、有田焼の歴史をたどる「有田焼の七色祭り」を開催。

7月下旬
有田焼祭り
有田焼の歴史をたどる「有田焼の七色祭り」を開催。各窯元が制作された人形を、有田焼の歴史をたどる「有田焼の七色祭り」を開催。

7月下旬
有田焼祭り
有田焼の歴史をたどる「有田焼の七色祭り」を開催。各窯元が制作された人形を、有田焼の歴史をたどる「有田焼の七色祭り」を開催。

12月31日
有田焼祭り
有田焼の歴史をたどる「有田焼の七色祭り」を開催。各窯元が制作された人形を、有田焼の歴史をたどる「有田焼の七色祭り」を開催。



有田町観光ガイドマップ「有田」

お問い合わせ
一般社団法人 有田観光協会
佐賀県西松浦郡有田町岩谷川内2-8-1
TEL 0955-43-2121
E-mail kanko@arita.jp

発行元
有田町役場商工観光課
佐賀県西松浦郡有田町岩谷川内2-2202
TEL 0955-46-2500
E-mail syoko@town.arita.lg.jp

ありたさんぽ

*この「有田」に掲載されている情報は、平成29年4月現在のものです。